

福祉

十二月十七日にアグピアホールで、令和四年度阿久比町社会福祉大会を開催。表彰式で阿久比町の福祉に尽力された方、優良児童生徒、愛知県共同募金会作品コンクール入賞者の表彰を行いました。
表彰式後、映画「最高の人生の見つけ方」を上映。余命宣告された主婦と仕事一筋の女性が出会い、偶然手に入れた「死ぬまでにやりたいことリスト」の全項目を実行する中で大切な人への思いに気づき、人との出会いの素晴らしさを感じる映画でした。



社会福祉協議会功労者表彰
國嶋 治 様



社会福祉協議会会長感謝
富田 耕司 様



優良児童生徒表彰
東部小6年 上島 朱音 様



赤い羽根協賛作品コンクール入賞
草木小5年 高橋 絢音 様



©2019「最高の人生の見つけ方」製作委員会

主な内容

- 会長年頭あいさつ
- 表彰おめでとう
- 赤い羽根共同募金中間実績
- 社会福祉協議会活動状況
- コミュニティソーシャルワーカーをご存じですか？
- 生活福祉資金貸付制度のご案内
- 新評議員の紹介
- あぐいグイグイネット
- スポットあぐい
- 善意をありがとう
- 嘱託職員ホームヘルパー募集
- 雑記



目の不自由な方があぐいの福祉を利用できるよう声の広報ボランティア「あいうえお」の皆さんがCDに音訳録音しています。録音したCDは、利用希望者へ無料で送付します。

■ 問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター 電話 48-1111 内線1523・1524 ■

新春を迎えて

地域のために、地域でできること！



会長 大村泰敬

新年明けましておめでとございます。皆様お揃いでお健やかに新しい年を迎えられましたことお慶び申し上げます。今年こそコロナが収束し、コロナ以前の生活に戻れるようお祈りしたのではないのでしょうか。

旧年中は社会福祉協議会の事業や活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年はコロナ第七波で、七月・八月は毎日のように感染者数が増え続けこの先どうなるか不安でしたが、十月頃から少し落ち着き、全国旅行支援も始まりました。インバウンドで海外からの旅行者も来日し、観光地も賑わい、各地の行事も徐々に進行うようになり活気も出てきました。

社会福祉協議会は、昨年も生活福祉資金の特例貸付を行い、多くの方が利用しました。また、ひとり親家庭、子育て中の生活困窮家庭に、JAあいち知多様、フードバンク愛知様からご寄付頂いたお米を配布す

ると共に、町民の皆様呼びかけ食品を集める「フードドライブ」活動、集まった食品を無償で配る「フードパントリー」活動も行いとても好評でした。

社会福祉協議会は町の委託を受け、生活支援コーディネートとコミュニティソーシャルワーカーを配置し、

『地域のために、地域でできること！』

を地域づくりのテーマに、地域でどんな活動が行われているか、どんな方が活動しているか、地域をよく知ったうえで、コロナで希薄になった地域の関係や支え合いを再構築するため地域の協力者（担い手）の創出に力を入れ、「地域共生社会」の実現を目指します。

また、社会福祉協議会は地域の方が運営するサロン活動を支援しています。サロンは誰でも参加でき、コーヒーを飲みながら楽しい会話が弾む居場所です。こうした地域の居場所づくりを支援する、地域いきいき福祉活動も積極的に推進していきます。

今年もいろいろあると思いますが、きっと明るい良い年になると信じます。社会福祉協議会の果たす役割も今まで以上になると思います。安心して住み続ける地域づくりを推進するため、皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。年頭にあたり皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

表彰おめでとう

十二月十七日、アグピアホールで阿久比町社会福祉大会が開催され、次の方が表彰されました。おめでとうございます。

社会福祉協議会会長表彰

役員・評議員十年以上

國嶋 治(くにしまおさむ) 理事
新美 英孝(にいみひでたか) 理事

優良児童生徒

上島 朱音(うえじまあかね) 東部小六年
花牟禮佑太(はなむれゆうた) 英比小六年
竹内 瑞季(たけうちみずき) 草木小六年
佐々木 澪(ささき みお) 南部小六年
小高 胡春(おたか こはる) 阿久比中三年

社会福祉協議会会長感謝

福祉基金高額寄付

富田 耕司(とみた こうじ)

県共同募金会伝達表彰

第七四回赤い羽根協賛児童生徒作品入賞

北村 悠(きたむらほると) 東部小一年
岡戸梨緒奈(おかど りおな) 阿久比中一年
田畑 愛羅(たばた あいら) 阿久比中一年
荒川つばさ(あらかわつばさ) 英比小四年
高橋 絢音(たかはしあやね) 草木小五年
木下 七海(きのしたななみ) 阿久比中三年

(順不同 敬称略)

社会福祉協議会の活動状況

ひとり親家庭、子育て中の生活困窮家庭にお米の配布を行いました

10月10日、阿久比町保健センターロータリーで、フードバンク愛知より提供されたお米を、ひとり親家庭、生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付を借りている18歳以下の子育て中の生活にお困りの世帯を対象に、1人2kgの白米を配布しました。



福祉実践教室が開催されました

10月から12月に町内の小中学校で福祉実践教室が行われました。10月14日英比小学校102人、10月25日南部小学校72人、11月22日草木小学校39人、11月25日東部小学校173人、12月9日阿久比中学校350人が参加。障がいのある方、ボランティア、地域包括支援センター職員を講師に手話、点字、ガイドヘルプ、認知症、車いす、妊婦体験を通して「共に生きる」大切さを学びました。(手話講師は感染予防マウスシールド着用)



車いす



手話



ガイドヘルプ



妊婦体験

防災リーダー及び災害ボランティアコーディネーター養成講座が開催されました

10月22日東浦町文化センターで、防災の基礎知識を身につけ地域の防災活動を進める、防災リーダー及び災害ボランティアコーディネーター養成講座が開催され22人が参加しました。午前は名古屋市港防災センターの近藤ひろ子氏の防災に関する講義、午後は東浦防災ネットが講師で地域の防災対策を検討する「災害図上訓練(DIG)」を体験しました。この講座は、1月まで全部で4回開催されます。



全員卒業！介護職員初任者研修会

この事業は、皆様から寄せられました赤い羽根共同募金の一部で実施しています



9月2日から15日間行われた研修会は10月26日に無事終了。10代から80代の男女14人全員がホームヘルパーの資格を取得しました。受講者より「とても有意義な研修で講師の介護の仕事への愛を感じマイナスイメージが少なくなった」「知らない事ばかりでしたが講師の熱心な授業で目から鱗が落ちる事が多くあった」「介護は大変、辛いというイメージがありましたでしたが先生の熱心な話を聞きイメージが変わりました」との感想が多く寄せられました。



地域の福祉に役立てて！ JA あいち知多

12月14日、JAあいち知多の稲葉清仁阿久比地域担当理事代表が、社会福祉協議会を訪れ、地域の福祉に役立ててと知多米「あいちのかおり」125kgのお米券を寄贈されました。JAあいち知多では、社会貢献活動の一環として転居等で脱退した組合員が返却したポイントカードに残ったポイント相当分の金額を集め、知多半島産の米「知多米」として半島内の社会福祉協議会へ寄贈しています。社会福祉協議会は寄贈されたお米券を、コロナウイルスの影響で失業したり収入が減り食事に困っている生活困窮者への食糧支援に活用させていただきます。



コミュニティソーシャルワーカーをご存じですか？

阿久比町では、地域に出向き住民のみなさんからさまざまな相談を受ける専門職「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を配置しています。

※高齢者、障がいをお持ちの方に限らず、子育て世代、生活困窮者など、支援を必要とするすべての地域住民とその家族を対象としています。

◆「専門相談窓口にあてはまらない困り事がある…」 「いろいろな事が重なっている…」 そんな時はコミュニティソーシャルワーカー（CSW）にご相談ください！

地域の福祉相談員「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」

阿久比町社会福祉協議会 守口・横江

TEL：0569-48-1111（内線1523） FAX：0569-48-4045 メール：agui-sw@cac-net.ne.jp

生活福祉資金貸付制度のご案内

生活福祉資金は、所得の低い世帯、障がい者、日常生活で療養・介護を要する高齢者がいる世帯などを対象の貸付制度です。貸付に際しては、一定の要件があります。詳しくは社会福祉協議会に相談ください。

1 総合支援資金

失業等、日常生活全般に困難を抱えており生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に貸し付ける資金

- 生活支援費
- 住居入居費
- 一時生活再建費

2 福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯に対し、日常生活を送る上で、または自立生活に資するために一時的に必要であると見込まれる経費として貸し付ける資金

- 福祉費
- 緊急小口資金

3 教育支援資金

低所得世帯に対し、高等学校、大学または高等専門学校に入学及び修学が必要であると見込まれる経費として貸し付ける資金

- 就学支度費
- 教育支援費

4 不動産担保型生活資金

低所得および要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金

- 不動産担保型生活資金
- 要保護世帯向け不動産担保型生活資金

5 臨時特例つなぎ資金

住居のない離職者で、離職者支援の公的給付・貸付制度の申請を受理された生活困窮者に対して、資金交付までの生活費として当面の生活費を貸し付ける資金

新評議員の紹介

社会福祉協議会の評議員の一部の方に異動がありましたので報告します。退任された評議員の皆様には、お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

新たに評議員に就任された方には、地域福祉の推進にご協力をお願いいたします。

【就任】

青木 惠（民生委員）
齋藤小百合（民生委員）
鈴木 博子（民生委員）
菅野 公雄（共同募金委員会）
小川 明美（識見を有する者）

【退任】

新美 千穂（民生委員）
竹内 邦雄（民生委員）
小川 明美（民生委員）
山内 英治（共同募金委員会）
三留千江子（識見を有する者）

（敬称略）

三留千江子様は、令和4年9月14日に永眠されました。
心よりご冥福をお祈りします。

「あぐいグイグイネットでは、ボランティアグループや町民活動団体など阿久比町のまちづくりに関わっている活動のイベント・講座・募集情報を紹介していきます。



令和4年度 ボランティア入門講座を始めます

阿久比町ボランティアセンターは、町より委託を受け初めてボランティア活動を始めの方を対象にボランティア入門講座を開催します。コロナ禍で外出の機会が少なくなってしまう方・ボランティア活動に関心はあるがきっかけがなく1歩が踏み出せないあなた。

新しい年が始まるとともに、新しいことを始めてみませんか？

日時 令和5年2月5日(日) 午後1時～午後3時

場所 エスペランス丸山 (阿久比町勤労福祉センター)

参加費 無料

定員 25人

内容Ⅰ 『ボラぼ～！を考えよう～ボランティア入門講座～』

初めてボランティアをしたいと思っている方、きっかけがほしい方むけの講座

◎講師／愛知淑徳大学教授 中村 弘佳 (なかむらひろよし) 氏

※中村弘佳氏は、現在、NPO法人ボラみみより情報局の理事も務めています。

内容Ⅱ 『ボランティアセンターの説明、ボランティアグループの活動紹介』

阿久比町ボランティアセンターの活動やボランティアセンター登録のグループを紹介

◎講師／阿久比町社会福祉協議会職員

申込 1月27日(金)までに社会福祉協議会へ電話かメールでお申し込みください。

阿久比町社会福祉協議会 担当／加藤・守口

電話：48-1111 (内線1523)

Eメール：agui-sw@cac-net.ne.jp

※新型コロナウイルス感染拡大により、中止になる場合があります。



令和4年度 災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します

最近、地震や豪雨などの自然災害が各地で頻発しています。町民の皆さんの「普段からの防災」減災活動など、「お互いに助けあう力」がかかせません。

この機会に災害に対する正しい知識や防災活動の技術を身につけてみませんか？

●日時／令和5年1月14日(土) 午前10時～午後4時15分まで

●場所／東浦町文化センター (東浦町大字石浜字岐路10)

●参加費／無料

●定員／15人

●内容／午前：災害ボランティアセンターの概要 (講義)

午後：災害ボランティアセンター設置模擬訓練 (実技)

◎講師：NPO法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之氏

●申込／電話・メールまたは右記QRコードからお申込みください。

※申込締切1月10日(火)

阿久比町社会福祉協議会担当／加藤・守口

電話：48-1111 (内線1523)

E-mail：agui-sw@cac-net.ne.jp

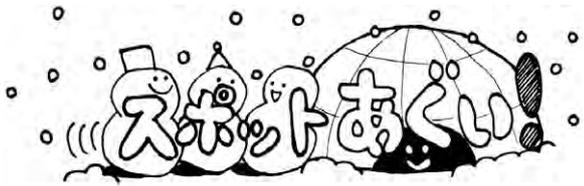
※新型コロナウイルス感染拡大により、中止になる場合があります。

※QRコードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。



ご参加
お待ちしております。





このコーナーでは、今、阿久比町で気になるボランティア、NPO、福祉施設の場所や活動のニュースをご紹介します。

障がい者運動会 阿久比みんなのスポーツデーが行われました!

赤い羽根
共同募金



10月15日、第42回障がい者大運動会が阿久比スポーツ村陸上競技場で行われ、身体障害者福祉会、手をつなぐ育成会、精神障害者家族会、町内の障がい者施設のもちの木園、アンカレッジの方が、民生委員児童委員協議会障がい者部会と日本福祉大学生の皆さんにご協力頂き、楽しく交流できました。コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催され、秋晴れのもと紅組・白組に分かれ熱戦を繰り広げ僅差で白組が勝利しました。

知多サザンシニアライオンズクラブ様から運動会の参加賞代2万円の助成金を田中芳樹会長より頂きました。お礼申し上げます。



阿久比高校 福祉講話が行われました!



10月27日、阿久比高校で1年生278人が参加して福祉講話が行われました。毎年生徒会部主催で福祉への基本的理解を深めるため開催し、今年は発達障がいを理解するため、発達障がいのある子どもを育てる親などのグループ「阿久比町発達障害疾患啓発キャラバン隊Bloom」から、ADHD（注意欠如・多動症）、ASD（自閉症スペクトラム症）、LD（学習障がい）の特性について、子育て経験や発達障がいを公表している著名人の事例を交えて説明し、発達障がいの人は「困った人」でなく「困っている人」とであると、今日の話聞き知るきっかけになればと障がいへの理解を求められました。

子ども食堂ぽかぽか 活動がスタートしました!



阿久比町内の有志が集まって「こども食堂ぽかぽか」の活動を開始しました。第1回は11月3日に宮津地区の谷性寺（こくしょうじ）の庭で開催し、子どもから大人まで165名の来場者で賑わいました。今回のメニューは、地域の方々にご寄付して頂いた野菜で作る「秋カレー」と「さつまいもコロコロ」で美味しく食べてもらいました。工作コーナーでは「ぶんぶん

こま」を教えてもらい工夫して作りました。笑顔で楽しく過ごして頂き、皆さんの心が元気にぽかぽかになりました!

※食材や運営資金等のご寄付にご協力頂けると嬉しいです。



野菜とったど〜! オヤジ塾野菜を収穫しました!



地域活動の担い手育成を目的に開催された「粋（いき）なり! オヤジ塾」に参加されたオヤジ塾のOBの皆さんが、植大地区にある畑で交流を目的に野菜作りに取り組んでいます。

11月16日、サツマイモ掘りを行い、予想以上の豊作でメンバー全員で大いに盛り上がりました。

今後、ふれあいの森にあるピザ窯でピザを焼くなど地域で活動するオヤジを目指し活動を続けるそうです。



福祉基金で住みよい福祉のまちづくり

福祉基金は、皆様の善意のお金を大切に積み立て、その利息を福祉の事業に使い住みよいまちづくりを進めようとするためのものです。



善意をありがとう

令和4年9月から令和4年12月までに下記の方々よりご寄付いただきました。紙上にて厚くお礼申し上げます。

福祉基金寄付

氏名	寄付内容		備考	氏名	寄付内容		備考
	区分	金額			区分	金額	
阿久比町グラウンドゴルフ協会様	現金	2,300	町スポーツフェスティバルホールインワン基金協力金	阿久比町更生保護女性会様	現金	10,000	チャリティバザー売上金の一部
富田耕司様	現金	12,162		匿名希望様	現金	1,900	
知多友の会様	現金	10,000	福祉支援	阿久比町いきいきクラブ連合会様	現金	3,141	いきいきクラブ連合会グラウンドゴルフ大会ホールインワン基金
半田遊技業組合様	現金	50,000	福祉支援	匿名希望様	現金	1,502	

人権・行政・心配ごと相談

毎月第1・第3木曜日 9:30~11:30
中央公民館308号室

こころの悩み相談室

(要予約 社会福祉協議会)
1月24日、2月21日、3月14日 14:00~16:00
オアシスセンター2階会議室

嘱託職員ホームヘルパーを募集します!

- 仕事内容 高齢者や障がい者の家庭を訪問し介護等を行います。
- 資格 介護福祉士、初任者研修終了者、ヘルパー2級以上、看護師(准看護師)いずれかの有資格者
- 勤務時間 月曜日~金曜日、8:30~17:15で概ね週4日。
休日は土日祝日・年末年始(業務上必要な場合は休日を他日に振替えます)
- 給料 基本給 月額128,500円
- 申込 履歴書(写真添付)に資格証・自動車運転免許証の写しを添付し社会福祉協議会(オアシスセンター3階)に土日祝日除く9時~17時に提出してください。
書類選考後、後日、面接試験を行います。
- 問合わせ 社会福祉協議会 電話0569-48-1111(内線1523) 担当/品川
★パートヘルパーも随時募集しています。私たちと一緒に働いてみませんか!



雑記

阿久比町社会福祉協議会(社協)が法人化し職員募集をしたのが37年前。社協に入った頃は、パソコンも携帯電話もなく書類はすべて手書きでした。当時の福祉のトレンドは、「ノーマライゼーション」「完全参加と平等をテーマとした国際障害者年」でした。

ボランティア活動もこの頃から注目を浴びだし、社協の役割は住民がボランティアに参加し行政と協力し福祉のまちづくりを進める事だと教えられ、ボランティア講座を色々やりました。

令和となり、人口減少・本格的高齢社会を迎え、8050問題、ひきこもり、生活困窮など新たな問題が、コロナの影響で一気に表面化し、仕事もパソコン、携帯電話が普及しITが使えないと取り残されるご時世です。

今、国は「地域共生社会」を目指し、働き方改革もあってIT化が加速。ITが苦手の私には生きにくい世の中ですが、時代が変わっても福祉は人を思いやり、助け合う、人とのつながりが基本だと思えます。私も多くの人に支えられ定年を迎えます。この場を借りて感謝申し上げます。

T・S

資源を大切に! この用紙は再生紙を使用しています。



編集発行/社会福祉法人 阿久比町社会福祉協議会

〒470-2212 阿久比町大字卯坂丸の内85番地 電話 (0569) 48-1111 内線 1523・1524 ホームページアドレス <http://www.agui-shakyo.or.jp>